

近  
現  
代  
編

# 一 近代社会への歩み

## 1 廃藩置県と出石県の発足

### 一 米切手引揚の儀

長良政雄家文書

(表紙)

辛 明治四年  
 五月十七八日大洪水八尺余り之出水  
 公私用日記  
 未 正月吉日  
 七月廿一日 出石藩  
 知事御免  
 但 列藩御同様之趣  
 貞雄

(明治四年四月)

一己卯廿日、早朝拝礼雨天○此度昨年ノ融通之為上納切手として銀札御差出ニ相成居候、然ル処右札ノ曖昧不都合相生し可申義(儀)以下同も有之ニ付、当晦日迄ニ引揚可申様御触有之、尤大少市長・坊長江ハ一昨日ノ御達ニ相成候趣、今日商社ニ而大小市長・大坊長江会計御役人麻見少参事様野崎少属其外会計御役人ノ御趣意之趣篤与御談相成候様、尤難洪之義ハ渡世も相止リ候義故、早速替リ札御渡被成下候趣、相応之者ハ当晦日迄ニ差出し来ル六月晦日残券一四三七五之法ヲ以御渡しニ相成候趣御談

一 庚辰廿一日(中略) 昨日より上納券一条、下々ニ而彼是

取沙汰、誠ニ人氣悪し哉、諸所ニ而寄合居候由

一 辛巳廿二日(中略) ○昨日上納札之一件、下分より来晦

日ニ御引換被下候歟、今暫通用仕候歟、兩様相願候由、

然ル処御藩へも下分難波之趣達上聞候哉、左之趣御

談、今日より下分難波人江米売払被成下候段、尤上納

札尅毎ニ目直之趣、商社ニ而御払相成候事(後略)

一 癸未廿四日(中略) ○明第二字、御用達之面々御用之

義候間、宗鏡寺江罷出候様御談ニ候得共、拙家ハ昨

年より種々内嘆願仕候故、当春御目見ニも御沙汰無之

ニ付、御赦免ニ相成候事与相心得罷在候段、大坊長

長谷要蔵殿留守中御老人江申達何分宜鋪御願申上候

様申置

一 甲申廿五日、雨天(中略) 廿五日、町在・御用達・大

里長・大坊長御呼出、於宗鏡寺、左之趣被 仰渡

先般從 朝廷藩債支消之目途相立テ早々可申達旨被

仰出候処、量制之道如何共不相立候ニ付、從前金

返向者勿論其余他管之者ニ至迄或者<sup>(懸銀)</sup>或者新借等

夫々相頼種々焦苦罷在候得共、元来會計逼迫之折柄

近年之凶荒殊ニ内外諸費相嵩候付、差向今日之処大

ニ差支候間、無余儀頼金申付候条、他管之者へも猶

不義理之頼談ニ及候程之義ニ付、其方共も厚致恐察、

經營之道相立候様、一入尽力頼入候、尚委細之義者

其懸り可申談候也

辛未四月

一 御頼金御返濟之義ハ年四朱利足加へ拾ヶ年割戻之

事

右之外ニ

高尅石ニ付四拾厘宛御返濟從前同様之事

一 調金之義左之日限ニ相納可申事

三歩一 五月十日

三歩一 〃 晦日

三歩一 六月廿日

御出席御役人

1 廢藩置県と出石県の発足

少参事

(金沢誠様  
麻見義脩様)

権少属

(橋本江笠様  
堤築郎様)

免本官

○ 辛未七月

太政官

會計方  
大属 (本間熙太郎様  
草川)

○ 今般藩ヲ廢シ県ヲ被置候ニ付テハ

二 廢藩置県通達

『出石藩日誌』明治四年七月二十三日条

事

御沙汰有之候迄大参事以下是迄之通事務取扱可致候

一 第十字惣出頭之上左之

詔書並御達書拜見申付候事

辛未七月

太政官

主上出御三条右大臣被誦之

三 紙幣引換價位につき布告

○ 詔書写(略)

『出石藩日誌』明治四年七月二十七日条

○ 藩ヲ廢シ県ヲ被置候事

(1) 県庁触書

○ 辛未七月

太政官

○ 七月廿七日

弁官被廢候事

○ 辛未七月

太政官

郡市江

出石藩  
知事仙石政固

貨幣ハ天下一定之品ニ可有之処、從來諸藩ニ於テ各種之紙幣ヲ製シ其通用價位区々ニ相成不都合之事ニ候、今般廢藩ニ付而ハ総テ今七月十四日之相場ヲ以

追テ御引換相成候条此旨兼テ可相心得候事

七月 太政官

右之通被

仰出候ニ付、当県ニ於テハ本月十四日紙幣之価位則  
従前之通壹兩拾貫文ニ候条、其旨相達置候ニ付、

爾来別而心得違無之、区々之相場等不相立様、大  
藏省ヨリモ別段御達ニモ相成候間、此段市中不洩  
様可相触者也

○

士族卒江

同文言

右之通郡市江布告致シ候間、此段可相心得事

(2) 錢券不印の風聞 『公私用日記』長良政雄家文書

(明治四年七月)

一乙卯廿七日、早朝拝礼、承り候処兼て今廿七日御引換  
盆前之開社可有之処、休日ニ相成、依て錢券彼是

不印之風聞有之処

昼後、角福富に而左之御触書拝見

\*このあとに(1)の太政官達・県庁触書が記載されている。

四 旧知事公へ献金之事

『公私之日記』長良政雄家文書

(明治四年八月)

一戊辰十日、天氣(中略)九日分大市長・少市長始大少

坊長・郷長・大里長分限ニ応し知事公江献金致候趣、  
拙家金貳兩献上致候、外献金左ニ承候

金拾五兩つゝ河村又三郎 金壹兩つゝ池田澹治

大橋又十郎 橋本寛次郎

金壹兩つゝ 芦田又一郎 福富品藏

長谷要藏

金拾兩 橋本茂平 金五兩 福富平造

ク式歩 芦田徳藏 ク千疋 尾木義十郎

右何連も此度 知事職御免官被為 仰付候ニ付、御

高恩奉報、献金致者也

(中略)

1 廃藩置県と出石県の発足

一 甲戌十六日、雨天（中略）

一夕方左之趣御談

来廿日

從五位様御儀東京表江

御発駕可被遊候旨被 仰出候ニ付、明十七日御目見

被 仰付候間、第八字（時）参館可被致候也

八月十六日 京田如水

長良三郎殿

一 乙亥十七日、天気、早朝拜、御館江罷出

從五位様御意被 仰付、先般献金之御（換）摺被 仰付

御直御盃頂戴、御着被 仰付候事 尤御盃頂戴仕切

之事

御礼勤 樺田様 京田御氏

五 但馬国を出石県に被仰付候様願出の件

『公私之日記』長良政雄家文書

（明治四年八月）  
一 癸酉十五日、天気（中略）朝、谷山八幡宮江参詣仕帰

路芦田徳藏殿同道致、承り候得者、過日終日大少

市長・大少坊長寄合致候趣、右ハ此度廃藩ニ付、当

国出石県ニ被仰付候様、町方ハ東京表江願出度候趣

付而ハ右此度東行之人撰有之候処、林鼎一殿・鍋屋

直藏、右兩人多札之趣承ル

六 仙石政固從五位、東京表へ出立『公私之日記』

長良政雄家文書

（明治四年八月）  
一 戊寅廿日曇天朝六字

從五位様御機嫌克御発駕被遊、清水 御館江御立寄

御成被遊候事、右ニ付中村橋江御見送り奉申上候、

（中略）尤大小市長・大少坊長中ハ和谷村迄御見送り

申上候趣、御藩中御役人様ハ鍛冶屋村先迄御見送被

成候、又和谷村・養父米地辺迄御見送り被遊候も有

之候事

尤御供ハ上下 之趣、乘駕籠尅挺少々、小荷物式・

三 荷有之候趣、奉恐入候御事ニ御座候

2 出石県の廃止と豊岡県の発足

七 出石廃県

『出石県日誌』明治四年十一月十日条

一 今日士族卒惣出頭之上左之御達書拝見申談候事

元出石県

従前管轄之地所・物成・郷村等当未歳ヨリ豊岡県  
江可引渡事

但、元官員ハ当分従前之県庁ニ於テ事務可取扱  
事

辛未十一月 太 政 官

別紙

今般播磨国並丹後・但馬・丹波国之内従前之諸  
県ヲ

被廃、更ニ左之県ヲ被置候事

播磨国一円

姫路県

丹後国・但馬国一円

豊岡県

丹波国多紀郡・氷上郡  
天田郡

士族並卒江

前知事公往々之転遷被為在 御煩慮、当早春帰農等  
之儀詳細被申達、且深 御含之次第モ有之候処、今  
日之形勢弥 御煩慮之場合ニ立至リ候儀ニ付、一同  
猶更 思召之処厚追思前途之目的相定候事

八 新豊岡県への事務引継

『公私之日記』長良政雄家文書

(明治四年十二月)  
一十日、去六日御引渡ニ付、久美浜江御出張、九日御

帰リ

大参事 堀田反爾様

西山 碧様  
草川 代(弟)小属橋本出浜  
本間

右ニ付、左之趣被仰出

昨八日郷村並諸書物等目錄書ヲ以引渡相済候処、  
元官員当分従前之通事務取扱可罷在旨御達有之候  
条、此旨可相心得候事

十二月十日 元出石県庁

九 豊岡県支庁出石局設置

『出石局日誌』明治四年十二月十二日条

一 左之通豊岡県ヨリ申来

其支庁左之通可相唱候事

豊岡県支庁  
出石局

辛未

十二月十二日

豊岡県

一〇 豊岡県出石局廃止

長良政雄家文書

(表紙)

五月十四日 改称区长副区长

壬明治五年

公私用日誌

第一篇

申正月吉日

貞雄

一 (明治五年二月)

十八日、惣町大坊長御庁江御呼出、此度当庁江豊

岡御出張之御方一統江御談

今般其地廃局相達、尚御用有之官員出張候条、得其  
意、公事出入其外諸願届等都而出張局江可申出もの  
也

壬申二月十八日

豊岡県庁 御印

出石町役人

右行事組頭江申談候事

一同日は迄御旧藩之内<sup>(官)</sup>管員へ多人数御出動ニ候処、



今日不残免職被仰付、仕丁・郷卒之向も同断、依之是迄之県庁御廃ニ相成、荒木様旧宅当時武学校ニ相成候出張局与号、今日夕御出席ニ相成、豊岡県夕御出張御役人

山岸 観様 出張局御出勤  
市川二六郎様

一 今日被為免職ニ相成候内、左之人別新ニ出勤被仰付

見廻役ト号ス

- 一 倉谷
- 二 由利喜平次
- 三 今村弥三
- 四 吉村□七
- 外小使 升 蔵
- 岡本伝八

一 廿二日 廻達

旧県庁御廃止従前之武学校江今廿二日引移、於同所諸役御用向取扱候条、得其意、町々小前末々迄不洩様可相触者也

壬申二月廿二日

豊岡県

出石 出張局 御印

出石町

役人

二 辰鼓の廃止と復活

『公私之日記』長良政雄家文書

(明治五年二月) 晦日

(豊岡県出石出張局) 御出張局より御呼寄ニ付出庁之処、御別紙御書付被仰

出候事

一 辰鼓(以下同(時))今十二三切ニ而御廃止相成候事

一 癸卯十九日

旧御作事御用之竜吐水、町方火災用意之為拝借奉願

上候処、御聞濟、式挺拝借、依而御同役惣代として、

北橋(橋本)・本福富氏・拙家三人御請書印形仕候事

並辰鼓様拝借先達而奉願上置候処、愈今日御聞濟之

御沙汰候事

谷山川浚道具旧御作事御用之処、是又竜吐水同様之事

事

出水之節、大橋水除御道具是又同様之事

但、拝借数ハ御用受福富氏江委託有之へく事

右御道具置場、旧追手門御番所拝借仕、入置候事

(明治五年五月)  
二日(中略)

番頭谷右衛門從來御上より被下物等、御廃県ニ付御  
廢し相成、暮し方如何共難相立趣願出ニ付、御同役  
少坊長衆評之上軒別永錢五文遣し候而、永辰鞍樓に  
おゐて時之鐘相勤可申候様御請致し候ニ付、左之請  
書差出候事

差上申一札之事

一 今般御改正ニ相成、元御藩之節被下物等已來無之  
御決、私共暮し方難相立ニ付、此後惣而御用向勤  
方立行之儀御嘆願奉申上候処、尤ニ御聞取被為  
成下、御町方御一統様段々厚御評議之上、時之鐘  
相勤候様被仰付奉畏候、尚又川筋大橋掃除等、平  
常心掛て、昼夜市中日々見廻り嚴重ニ可仕段、是  
又被 仰付奉畏候、將又雪降之節ハ大橋道明ケ等  
夫々相心得候様可仕候、依之御請書奉差上候、已上

明治五年  
壬申五月

出石町  
御役人御衆中様

番頭  
谷右衛門 判

右之書面、朔日、谷右衛門持参致候ニ付、大市長江相  
廻候事

三 戸籍編制之儀に付伺

『公私用日誌』長良政維家文書

(明治五年四月八日)

乍恐奉伺口上書

一 旧御藩御人員増減総斗御取調之御帳面ヲ御渡被成下  
候上、市中帳面江編入候義(儀)以下同与奉存、此段奉伺候

一 戸籍帳野紙御渡相成候義奉伺候

一 旧御藩当时明家敷ニ相成候分、番号相除候御義哉、  
奉伺候

一 平民苗字御免被仰付奉畏候、然ル処、通用便利之義  
も御座候ニ付、屋号相用候義も蒙 御免度、奉伺候  
一 借宅寄留之者、戸籍帳順番ニ書入候義与奉存居申候、  
此段奉伺候

一 戸籍帳入用之義ハ、御藩並市中共戸籍惣割之義、別

段御触出奉願上候

一 総而惣町戸籍ニ相懸リ候入費ハ御藩市共惣割之御触

出奉願候

一 時鐘入費ハ御藩中並市中惣戸籍割之義御触出奉願上

候

一 番人谷右衛門給料前同様奉願上候

右之段 御内意奉伺候 已上

明治五年

壬申四月

大坊長惣代

長 良 三 郎

福 富 平 造

橋 本 茂 平

豊岡県

御出張局

### 3 市校の消長

#### 一三 市校の運営

『公私用日記』長良政雄家文書

(明治四年三月)

一 甲辰十四日、曇天、朝、大市長池田澹治殿ヲ差紙到來、左之趣申来

長 良 三 郎

申付義候間、(後)以下同即刻出頭可有之者也

三月十四日 藩庁

右之通申来候ニ付、大市長同道罷出候処、聴訟場ニ而少属河野様司法御立会之上、左之趣御談

長 良 三 郎

其方義市校執事申付候事

三月十四日 藩庁

右之通被仰付、尤、長谷拙藏殿・福富達三殿同様被仰付、付而ハ市校江教授方御出張有之ニ付罷出、諸事御

伺申上候事○商社出勤、昼後、河野様へ御礼(下略)

一 乙巳十五日、晴天、早朝福富へ市校之義ニ付罷越、夫々両宮江拜礼

(中略)

一 壬子廿二日(中略)市校々、明後廿四日十字(時以下同)御達之義有之ニ付罷出候様、御教導方々申来

(中略)

一 甲寅廿四日(中略)○市校々、御談之義有之十字出校、尤、大少市長并大坊長も出頭被致、右山崎少属様御出席御談之義へ、是迄朝廷并藩庁々教導筋或ハ説諭筋之御達へ、以後、当校教授方々可相聞御達し相成候、付而ハ市中老弱ニ不抱月々何日与会日相立、其日講釈有之ニ付、罷出拜聴可致御談、且当校修覆・薪炭之費用も法則相立候様大坊長江御談

(中略)

一 己未廿九日、天氣(中略)○朝、池田氏々呼ニ参リ罷出候処、市校之義、昨冬々私方無之ニ付、書付丈ヶ

御渡申候様御談、承引致し書付丈ヶ受取申候事

(中略)

一 乙亥十六日、少々雨天、十二字々市校御講釈有之段、一昨十四日、月番長谷氏々申来居同剋罷出拜聴、尤坊長始町々長之者共拜聴ニ罷出

一 癸未廿四日、快晴、(中略)○明日、知事公市校御出席之趣、月番長谷氏々申来、右ニ付、明日早天罷出候様申来

一 甲申廿五日、雨天、早朝市校江相詰(攝)、除除並御茶多(座)葉粉盆入念相待居候処、十字頃御延引之御沙汰に相成候事

一 戊子廿九日、快晴、朝拜礼、長谷氏々留守中ニ知事公市校江御出之節ニ御菓子頂戴仕候ニ付、御礼ニ参

(五)月ル 甲午五日、快晴、(中略)夕方左之趣市校教官々申来

前夜御談申候市校一条、早速於藩庁西川大属殿へ(送)一申達候処、大坊長並執事等 御趣意奉戴致し、速

ニ御受申上候段、定而去冬来之入費今冬迄之入費与申候得ハ多分之事ニ可有之、然ルヲ当年限与ハ乍申引受候段、実以感心之至との御沙汰ニ付、尚又御上御慈悲之次第、就而ハ坊長・執事尽力之廉々、町之坊長ハ生徒父兄之者へ一応申聞、冥加之程為弁物之多少品之高卑ニ不抱<sup>(抱)</sup>、身分ニ応シ、聊束脩相納候心得ニ而、七月何日・十二月何日生徒父兄之者持参、市校へ御礼罷出候事、身元格別不如意之者等ハ品物持参不仕とも御礼ニハ罷出可申、尤当日ハ教官・執事並月大坊長等出席罷在可申段、兼て申聞候而ハ如何可有之哉、右様仕候へハ一同之者 御趣意之程も体認可仕、且ハ明春より市校入費規則相立申候目的も相立可申、人氣ニ相抱<sup>(抱)</sup>候義ニも有御座間敷段、大坊長中より内々相伺候様申出候趣申上候処、是又至極尤之至、伺之通所置可然与能事ニ而早速 御聞ニ御達相成候哉、則御米式石為市校学費被下置候付、即刻秩禄方へ手形差出し御買上願置候間、下り次第

各方迄御廻可申候、右之次第各方が大坊長中へ御申通し被成、早々生徒父兄之者へ申論置有之度、且町之子弟之者、此上成丈入校願出、三学脩業致し厚御趣意難有奉戴致し候様、精々坊長ハ説諭有之度、入校相増候へハ、坊長之尽力相願之道理ニ相当候義故、此段も各方より御通達被下度候、右之段得意度、如斯候也

未五月五日

受読師

林 鼎一

少市長御中

(中略)

一 壬寅十三日、天氣、市校ハ御使有之候ニ付、罷出候処、兼て先達而御願申上置候御米御買ニ而、御下ケニ相成候由、相渡可申哉之段被仰聞候ニ付、少市長江御渡被下候様申可置候事○市校費用此度御米御下ケ之上者、其余雜用、坊長・執事之内ニ而可相知之段、過日教導方ハ書付有之候ニ付、右者執事之承知致候義ニ而ハ無之段申上置候事、右ハ少市長方へ

対談可致之事

(中略)

一 甲辰十五日、昼頃大雷(中略)七ツ頃林氏被仰聞候へ、  
 過日ハ市校入費大坊長寄合之節、其後執事ハ申出候  
 へ、右御役之廉々ニ而ハ相請不申段、被仰聞置候處、  
 昨日外用ニ而藩庁江罷出候處、右不足之分十三人ニ  
 而相弁可申ニ相違無之哉之御尋ニ付、右少し耽与難  
 申上段被仰上置候間、如何被成候哉之御添心、早速  
 福富氏使遣し被罷越種々相談之上、大坊長同様執事  
 ニ而ハ相請不申候間、此方ハ分限ニ応し差出し可申  
 示談致、林氏江御返答申上候事  
 (八月)  
 一 庚申二日、雨天、早朝経王寺江参詣○朝当月市校月  
 番候ニ付学校江相伺候事

(中略)

一 丙寅八日、天气、朝市校江、明日セキサイ(取)ニ付障子  
 張之義御談、昼後ハ表具屋弥平相雇、夕方迄障子張  
 見分致候事

(中略)

一 丁卯九日、早朝、市校江罷出、御祭御神酒頂戴、九  
 字前帰宅

四 市校の廃止

『出石県日誌』明治四年十月三日条

市校  
女学下校 江

皇国之人民貴賤ヲ不論智力ヲ磨キ才識ヲ長シ俊秀特  
 達シテ 皇路之発耀ヲ奉承スベキ秋ニ候条今 朝意  
 ヲ奉戴シ市校ハ県学校江女学ハ上校江令合併候事

『出石県日誌』明治四年十月九日条

長 良 三 郎  
 長 谷 拙 藏  
 福 富 達 (三)

其方儀市校執事申付置候處赦免候事

4 明治初期の地方制度

(1) 大区・小区制

一五 豊岡県の区編制

『公私用日誌』 長良政雄家文書

(明治五年四月五日)  
乍恐奉願上 口上書

一出石郡一郡ヲ以区順御定被仰付被成下候ハ、難有奉

存候、左候上何卒

家数も多御座候ニ付、第一区出石ヲ始ニ被為仰付、

夫ハ順ニ都而廻達仕候様ニ奉願上候、外ハ相廻り候

節ハ遅滞延引相成候御義(儀)も御座候、乍恐此段 御賢

察ヲ以奉願上候

壬申四月

大市長

池 田 澹 治

出石  
御出張局

願之趣聞届候事

御名

(中略)

一 庚申七日 辛酉八日 兩日御同役集会上之左之通伺書差出候事

区別奉伺候

一区

谷山町・伊木町・材木町・入佐町・東条町・魚屋

町・内町・八木町・宵田町・鉄炮町・本町

ノ凡八百八拾軒

二区

田結庄町・小人町・柳町・川原町・松枝町・馬場

町・下村・中村・長砂村・水上村

ノ凡八百七十軒

右之通区別奉伺候、已上

右一通

二六 出石町区画取調

『公私用日誌』長良政雄家文書

(明治五年四月)  
廿四日、大市長ハ御布告廻達

出石町区画取調

第二大区

第一小区

局・谷山町・伊木町・材木町・入佐町・東条町・  
魚屋町・内町・八木町・宵田町・本町・鉄炮町

第二小区

田結庄町・柳町・小人町・川原町・松枝町・馬場  
町・下村・中村・水上村・長砂村

右之通御取極相成候旨御達ニ付、此段申達候事

壬申四月廿四日

出石 出張局

当局付  
町村役人

大市長添書

御別紙之趣被 仰出候、夫々御承知、明廿五日照正八  
字より、無遅滞月請宅江御集會可成候、下帳何連之町  
村ニ而も出来申し本県へ御廻し相成候由、依而明日御  
藩士御名前軒前御書附御戸長様へ願置候間、御渡し可

下管ニ御座候

四月廿四日

同月廿五日  
昨廿四日、區別町順之義被仰出候得共、廿五日御同役  
集呼之上、左ニ奉伺候処、御開濟之事

第一小区

局・内町・材木町・谷山町・入佐町・東条町・魚屋  
町・八木町・本町・宵田町・鉄炮町

第二小区

田結庄町・小人町・柳町・河原町・松枝町・馬場丁  
中村・下村・長砂村・水上村

右之伺濟ニ相成候事

一七 町役人の改称

『公私用日誌』長良政雄家文書

(明治五年五月七日)

一 大市長 改称 区长  
一 中市長 改称 副区长

但、從前惣年寄或へ名主ト  
相唱戸長相勤候者何連も区  
長 從前町年寄ト唱副戸長相勤  
候者何連も副戸長たるべき  
事 (区)

一 少市長 改称 戸長  
一 組頭 改称 副戸長



但、従前村方庄屋同等之者何連も戸長

同断村方年寄或ハ組頭同等之者何連も副戸長たるべき事

右之通唱替可申事

右ハ四月中被 仰出候御趣意ニ基キ、割賦方法並役名唱替触達候条、得其意左之白紙江令請印、可相返者也

壬申五月 豊岡県庁

右之通可相心得もの也

五月七日 出石出張局

町村役人中

八日

今般区长・副区长等夫々御改正之儀被 仰出ニ付而

ハ、一町内限り之小事件ハ、其町副区长奥印之上諸願何等可差出、尤他町江関係之事件ハ区长並副区长其奥印之上差出可申、成丈ケ事簡易ニ取斗、聊下情壅閉不相成様可致候、右之趣可相心得者也

壬申五月八日 出石

出張局

出石町役人

右坊長・伍長迄之連名付差出候様被仰談候事

(中略)

一十四日、於局惣町大坊長江被 仰渡、尤銘々江御書

付ヲ以被渡

副区长申付候事 但、訴願之儀者従前之通可相心得事

一同日 池田 澹 次 (巻)

第一小区市中並谷山分・寺町分・出石町分区長申付

候事

従前之通橋本覚治郎支配之四ヶ村区长翌十五日御免ニ相成候事

河村 又三郎

第二小区市中並水上村区长申付候事

壬申五月

翌十五日水上村区长御免橋本覚次郎支配従前之通ニ成

(2) 郡区町村編制法による郡と町村

一八 従前副戸長に戸長申付の廻達(写)

日高町 西村家文書

但馬国

出石郡  
気多郡  
養父郡

右村々  
副戸長

戸長申付候、受理村々、従前之通可相心得候事

明治十二年一月十一日 兵庫 県 廻

別紙御達し差廻し候条、至急回達濟分受書可差出候事

十二年一月十一日 兵庫 県 第一課

出石郡  
気多郡  
養父郡

右村々  
副戸長御中

一九 旧大区区长兼務中事務の引継について伺(写)

日高町 西村家文書

第一条

從來 出石城崎  
気多美含 四郡兼務中罷在候処、今般出石・気多

を出石町へ、城崎・美含ヲ豊岡町へ郡役所被置候ニ付

テハ、右兼務中ノ事務引継・事件取調ニ付、各所へ巡

回候テハ徒ラニ時日ヲ潰シ、加之美含郡ノ如キハ何時

積雪之程も難斗(斗)候条、此際速ニ美含郡旧区務所ニ於テ

管理スル一切之事務及器物等、豊岡旧区務所へ引移シ、

気多郡モ模様ニ寄り同様出石町之旧区務所へ引移シ、

然ル後引継手順取調ニ着手致し度事

但し、旧区務所狭隘ノ節ハ模様ニ寄り、取調中寺

院或ハ相当の家屋借請ケ申度事

第二条

前条御許可之上ハ、旧区員其地ヲ離レ出張スル義(儀)ニ付、

旧慣ニ依リ旅費及滞在日当並ニ家賃とも (通断同人力) 区務

所仕払金之内ヲ以テ支給相成度、右之件ニ付至急御指

揮被成度、此段奉伺候也

元但馬国 一八二 大区々長

西山員直

一 近代社会への歩み

明治十二年一月廿五日

兵庫県令 森岡昌純殿

〔以下三行朱書〕  
「書面兩条共伺之通り」

明治十二年二月十六日

兵庫県令 森岡昌純」

三 出石気多郡役所開庁通達(写)

日高町 西村家文書

本郡役所之儀、出石内町拾三番地(元区務所)ニ於テ、

来ル十三日開庁候条、此段相達シ候事

明治十二年二月九日 出石 気多 郡長 西山員直

友田勘右衛門殿

河本弥一右衛門殿

長谷川平右衛門殿

新免紀左衛門殿

国眼健二郎殿

追テ至急回達因尾ヨリ返却可有之事  
(マモ)

三 戸長役場番号と位置の変更

日高町 西村家文書

郡第拾号

戸長役場番号並ニ位置、別紙之通り相定候、而シテ役場  
称呼之儀ハ、自今何戸長役場ト可相唱、此段相達候事

明治十三年八月廿三日

出石気多郡長 西山員直

(以下別紙カ)

出石郡

第一 内町外三十一ヶ町村分

役場位置 出石町

第二 畑村外五ヶ村

役場位置 桐野村

第三 口矢根村外十ヶ村

役場位置 口小野村  
(口矢根の誤写カ)

第四 小谷村外十ヶ村

役場位置 栗尾村

4 明治初期の地方制度

第五 坂津村外十六ヶ村

出石気多郡長 西山員直

役場位置 中山村

(別紙之)

第六 坪井村外四ヶ村

出石郡戸長人名

役場位置 口小の村

第一役場 鈴木直砥

第七 森尾村外九ヶ村

第二同 国村又右衛門

役場位置 三宅村

第八 三木村外十式ヶ村

第三同 浅沼松之助

役場位置 島村

気多郡

第四同 大橋安之助

(下略)

第五同 今井甚兵衛

第六同 浅井重成

三 戸長新任通達

日高町 西村家文書

郡第拾貳号

第七同 斎藤新右衛門

本年当県第八十五号布達ニ依リ戸長新任ノモノ別紙之

第八同 佐久間由豆流

通りニ候条、為心得此旨相達候事

明治十三年八月廿四日

一 近代社会への歩み

5 旧士族の転職と生計

三 士族生計調査につき届『出石気多郡役所文書』

小幡 謹一郎氏所蔵

(1) 間中藤雄生計届

旧禄米 九石三人扶持

此現米拾三石式斗四升八号<sup>(合)</sup>

改正禄米 拾式石

公債証書受領高 六百元

所有地価 四拾式円五拾九銭九厘内<sup>(二十四円七十銭)</sup>  
<sup>(宅地価ニ御座候)</sup>

同公債証書 無之

株券 五十円<sup>壹株</sup> 二十円<sup>二十株</sup> 此利子七円

前三項ヨリ生スル一ケ年ノ利子

職業ヨリ生スル利子 百七拾円

十五年以上六十年未満男女 式人内男一人  
女一人

十五年未満六十年以上男 四人内男一人

戸主 間中藤雄 年齢三十九年

右之通御座候也

明治十年十月十六日<sup>(六晚)</sup>

間中 藤雄

戸長 岡部久洋殿

\* 間中藤雄は当時抵産社社長

(2) 福田勤生計届

一 職業 農

一 旧禄米 五石三人扶持 此現米拾石四斗

一 改正禄米 九石

一 公債証書受領高 四百七拾円

一 所有地価 八百八拾参円〇六銭六厘

一 同公債証書 ナシ

一 株券 ナシ

一 前三項之内ノ生スル壹ケ年ノ利子 五拾三円

一 職業ノ為メ壹ケ年ノ利益 三拾円

- 一 現有金〆生スル利子 ナシ
- 一 十五年以上六拾年未満 男一人 女一人
- 一 十五年未満六拾年以上 五人
- 一 戸主年齢 三拾八年十ヶ月
- 一 所有財産之内 公債証書四百七拾円 地券四百五拾円 抵当差入
- 右之通御座候也

明治十六年十月

右 福田 勤

戸長 岡部 久洋殿

(3) 高見市次生計届

現況届

- 一 職業 工
- 一 旧禄米 三石六斗
- 一 改正禄米 貳石
- 一 公債証書受領高 百拾円

- 一 所有地価 貳拾六円貳錢三厘
- 一 所有公債証書 百拾円 此利子七円七拾錢
- 一 株券 無之候
- 一 前二項ヨリ生スル一ヶ年利純(總)以下同 八円七拾錢
- 一 職業ヨリ生スル一ヶ年利純 五十円
- 一 現有金無之候
- 一 十五年以上六十年以下 男二人 女一人
- 一 十五年以下六十年以上無之候
- 一 戸主年齢 滿五十二年
- 一 所有財産質入書入無之候
- 右之通御座候也

明治十六年十月

出石郡出石町柳貳拾四番地 士族 高見 市次

戸長 岡部 久洋殿

(4) 重田居宜生計届

一 近代社会への歩み

現況届

一 職業 雑業

一 旧禄 五拾壹俵五人扶持 此現石式拾壹石式斗三升

一 改正禄 拾六石

一 公債証書受領高 七百七拾円

一 所有地価 貳拾円四十銭六厘

一 同公債証書 五百円 此利子三十九円九拾銭  
七十円

一 株券 百五拾円 此利子貳拾壹円  
見込、年率割四分

一 前三項ヨリ生スル一ケ年利純 五拾六円四十五銭

一 職業ヨリ生スル一ケ年利子 百貳拾円

一 現有金ヨリ生スル利子無之候

一 十五年以上六拾年以下 男二人  
女一人

一 戸主年齢 四拾九年五ヶ月

一 所有財産質入書入無之候

右之通御座候也

出石郡出石小人町三拾七番地

明治十六年十月

士族 重田 居宜

戸長 岡部 久洋殿

(5) 太田広三生計届

職業 農

旧禄 壹人半扶持 現米二石七斗

改正禄 二石

全禄奉還

所有地価 九拾円

前利益 拾五円

職業壹ケ年利益 拾五円

十五年以上六十年以下 男老人  
女二人

戸主年齢 二十三年一ヶ月

十月

太田 広三

二 旧出石藩士族生計一覽表

(表紙)

明治十六年十月調査

兵庫県旧出石藩士族生計一覽表

出石氣多郡役所

生計上等

上等		種別		現在財産		現在歳入		人口		戸主					
職業	種別	公債	地価	公債	株券	甲	乙	計	借宅	自宅	男	女	戸	主	戸主
小学訓導	旧禄米 二六石	正改禄米 一〇石	〇円	〇円	三〇〇円	三二円	一四四円	一八七二円	同居	同居	二	一	〇	守山熊男	廿年
官員	一八〇石 (八石カ)	一八〇〇石 (八石カ)	〇	九三〇円	〇	四	三六〇円	四四	同居	同居	五	一	三	加納垣方	三十五年
医	二五	二、一〇〇	一四一九	〇	三五〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇四九、〇〇	自宅	自宅	六	二	三	百瀬良岱	三十二年
全	七三〇	九〇〇 (八石カ)	四七、六五	〇	一五〇	二六七	五、〇〇〇	五、六、七	自宅	自宅	三	二	一	湯谷行藏	三十二年
学務委員	二二〇	二〇〇	七四	〇	〇	〇	二六四、〇〇	二六四、〇〇	自宅	自宅	五	一	三	嶋村贊	三十七年



一 近代社会への歩み

全	官 吏	無 職 業	銀行 役員	医 師	銀行 役員	農 業	神 官	小 学 教 員	官 吏	全	全	商 業	商 業	瓦 工	医 師
四〇〇	三〇〇	一五三	二四三	七二〇	三三四	九四	三〇八	一九八	一四八	二〇二	三三九	二七六	一八〇	四〇〇	九九
二〇〇	二〇〇	一六〇	二〇〇	二二〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一六〇	二〇〇	一六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
九五〇	九五〇	七〇〇	九五〇	〇	六〇〇	一〇〇	九五〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	一一〇	六〇〇
元七	五五	四八	三三	〇	六三	一五六	二六	一〇	六六	三三	七五	一〇三	五八	〇	五八
〇	〇	〇	〇	〇	〇	四〇〇	一五	〇	〇	〇	四〇〇	六〇	一一〇	〇	六〇〇
四〇〇	七五〇	〇	一六五〇	〇	一五〇〇	二三五〇	二六〇〇	五〇〇	四〇〇	一五〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	六五〇〇	〇	四〇〇〇
五〇〇	一〇五〇	七〇〇	三三〇〇	〇	二〇〇〇	五九〇〇	三三〇〇	四〇〇	〇	一六〇〇	二五五〇	二九七〇	一六二七	〇	四〇〇
三六〇	六〇〇	三六〇	一八〇	一八〇	一三〇	六〇	一八〇	一四〇	三〇〇	一〇〇	二〇〇	一八〇	一四〇	六〇	四〇〇
四六〇	七五〇	四七〇	三九〇	一八〇	四二〇	六五〇	四二〇	二八〇	三〇〇	三六〇	二五〇	四〇七	三〇二	六〇	四二〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	自宅	全	全	全	自宅	全居	自宅
六	六	八	六	二	七	七	四	二	六	八	五	三	五	一	五
一	一	二	一	一	一	四	二	一	二	二	一	二	三	一	一
一	二	一	二	一	二	三	二	一	二	二	三	一	一	〇	二
四谷野	三竹村	五西川	三岡木	〇広瀬	四田中	〇伊藤	〇金沢	〇藤崎	二内藤	四弓削	一砂治	〇金沢	一関口	〇清水	二中山
孝	尚義	諫	嘉明	則之	義頭	唯八	誠	隆吉	五郎	究	加三	義明	喜元	敬治	逸齐
年三月	八年八月	廿年六月	廿四年三月	廿九年十月	廿六年二月	廿五年四月	廿三年正月	廿一年一月	廿一年三月	廿三年七月	廿七年七月	廿四年十月	廿三年九月	廿七年七月	廿四年七月



一 近代社会への歩み

学務委員	雑業	小学訓導	小学補助員	農業	小学訓導	農業	鍛工	商業	農業	農業	小学訓導	小学訓導	雑業	雑業
二七、六	一四、	二、七	三、	二、	三、	九、八	六、一	四、三	五、五	六、二	一四、七	二、三	二、	三、
二〇、	一六、	一〇、	一、	二〇、	二〇、	九、	二、	二、	二、	九、	三、	九、	三、	三、
九三五、	七五〇、	四〇〇、	五五〇、	九三五、	六七五、	四七〇、	二一〇、	二一〇、	二一〇、	四七〇、	五〇〇、	四七〇、	六〇〇、	六〇〇、
四六、 二二、	九二、	〇	〇	九三五、	元五、 元	一、 一〇〇、	六、 四	八九五	二八五、	五三、	七二、	八八八	二七、 三	二、 四
〇	六〇、	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三、 五
五〇〇、	一五〇、	三五〇、	〇	三〇〇、	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三五〇、	三五〇、	〇	二、 五
八六、 二六	八五、 二	八、	〇	八七、	三、	八五、	〇	一五、	二五、 二	九〇、	四九、 五	三、	五、 二	三、
二四、	八〇、 二	一四、	二〇、	二〇〇、	二五、	二〇〇、	七、	六〇、	二五、 二	六〇、	七、	六、	五、 二	三、
三〇〇、 二六	一六〇、 二	一八〇、	二〇〇、	二八七、	一五〇、	二八五、	五、	五、	三〇〇、 二	一五〇、	二二、 五	二二、 五	二二、 五	七、
自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
一〇	五	五	三	八	七	六	三	三	四	八	五	三	四	二
二	三	一	二	四	一	四	二	一	二	三	一	二	一	一
二	二	二	一	一	一	二	一	一	一	一	二	一	一	一
六	〇	二	〇	三	五	〇	〇	一	一	四	二	〇	二	〇
本間 果	草川 克弘	宮川 鷺郎	竹村 善道	真野 勇夫	服部 簡	山内 弥藏	秋山 専八	中安 リウ	松原 重藏	藤川 彦三郎	白杉 元太郎	青山 作太郎	中沢 圭次	鳥居 猛
一 ケ月	三 年 十 月	三 年 九 月	六 年 六 月	五 年 三 年	三 年 七 月	五 年 七 月	四 年 十 月	六 年 二 月	五 年 二 月	一 年 一 月	四 年 四 月	二 年 六 月	三 年 四 月	四 年 七 月

5 旧土族の転職と生計

職業	種別	現在財産		現在歳入			人口	戸主	戸主ノ年ノ齡
		地価	公債	株券	甲	乙			
農	官吏	四二〇	二〇〇	〇	一〇〇〇	二〇〇	二	柴原元平	卅五年
農	農	一三〇〇	九〇〇	〇	三七〇	三七〇	一	高橋克	廿五年
農	農	五五〇	二〇〇	〇	三三〇	三三〇	一	間間慎平	廿七年
全	全	六〇〇	二〇〇	〇	三〇〇	三〇〇	二	本条雲藏	廿四年
全	全	一〇四〇	九〇〇	〇	八三〇	八三〇	一	福田勤	卅八年
全	全	六〇〇	二〇〇	〇	一八〇	一八〇	二	高岡源藏	卅年
全	全	七〇〇	九〇〇	〇	六〇〇	六〇〇	一	田森弥藏	卅二年
全	全	四〇〇	二〇〇	〇	二〇〇	二〇〇	二	吉岡嘉七	卅三年
全	全	七〇〇	四〇〇	〇	三〇〇	三〇〇	一	岡田駒吉	卅七年
全	全	一五〇八	一六〇〇	〇	五元	六元	一	中村重道	卅七年
全	全	一三二四	二〇〇	〇	一五〇	一五〇	一	竹村慶也	卅三年
全	全	五〇〇	二〇〇	〇	三三〇	三三〇	二	湯村直治	卅六年
全	全	一八〇〇	一六〇〇	〇	〇	一五〇〇	二	池口忠恕	卅二年
全	全	七〇〇	二〇〇	〇	二四〇	二四〇	一	西沢治郎作	卅九年

一 近代社会への歩み

全	全	全	雑業	官員	商	工	商	雑業	全	全	全	全	商	小学訓導
八、〇〇	六、四〇	二五、八五	二二、三三	二〇、八五	八、八五	一一、五	一六、四	一六、二〇	八、八〇	一九、〇七	三三、四	六、四	七、五	一四、〇〇
九、〇〇	二、一〇〇	二、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	九、〇〇	九、〇〇	一六、〇〇	一六、〇〇	九、〇〇	一六、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	九、〇〇	一六、〇〇
四七、〇〇	一、一〇〇	六、〇〇	七、〇〇	七、〇〇	四七、〇〇	四七、〇〇	五〇、〇〇	七〇、〇〇	四七、〇〇	七〇、〇〇	六〇、〇〇	一〇、〇〇	七、五〇	五七、〇〇
八、三、三〇〇	四、九〇、〇〇	二八、一六、三〇〇	二、四〇、五〇〇	〇	一八、〇四	一三、三、四〇〇	元四	二、〇八、七〇〇	一、六、〇〇	二〇、二〇、六〇〇	四、五	一、四、三、二〇〇	三、〇〇	元〇、三、一〇〇
〇〇、〇〇	〇	〇	五、〇〇	〇	四、〇〇	〇	一〇〇、〇〇	〇	五、〇〇	一〇〇、〇〇	七、〇〇	二、〇〇	〇	〇
四、〇〇	七、七〇	三、〇〇	五、五〇	〇	五、五〇	三、九、二、〇〇	三、〇〇	四、七、七〇	七、〇〇	七、四〇	七、〇〇	三、四、〇〇	一、一、〇〇	一五、一七、一〇〇
二四、〇〇	六、〇〇	八、四、〇〇	三、〇〇	一、〇〇	六、〇〇	二、六、〇〇	一〇、〇〇	七、〇〇	六、〇〇	二、〇〇	一、七、〇〇	六、〇〇	三、〇〇	一八、〇〇
六、〇〇	六、七〇	一〇、六、〇〇	二、五、五〇	一、〇〇	一、五、五〇	一、七、九〇	三、〇〇	一、三、一、七	一、〇〇	八、四〇	一、七、〇〇	九、四〇	六、〇〇	三、一七
自宅	借宅	全	自宅	同居	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四	四	二	四	四	二	五	七	六	五	五	六	三	四	四
一	一	一	二	一	一	二	二	一	一	一	一	一	二	一
一	二	〇	一	一	一	二	一	二	二	一	一	一	二	二
二	一	一	一	二	〇	一	四	三	二	三	四	一	〇	一
西沢 信平	中井 保	岡島 始	重田 居宜	清水 潔躬	依田 猪三	福富 利平	亀井 直方	川口喜次郎	田中 武吉	永井 真澄	間中 藤雄	宮谷 嘉一	常田 潤三	大室 与
十ヶ月	三ヶ月	八月	四月	四月	七月	一月	四月	三月	七月	四月	三月	七月	七月	八月

5 旧士族の転職と生計

職業	種別		現在財産		現在歳入		同借宅ノ別	人口	男女		戸主	年ノ主ノ齡		
	旧禄米	正改禄米	受領高債	公債	株券	甲			乙	計			男	女
雑業	一八、〇〇	一六、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	五、〇〇	〇	五、〇〇	全	三	一	一	杉立義郎	三月五月
全業	七三、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	〇	二元、〇〇	〇	二元、〇〇	全	六	二	一	田中万作	三月
全上	二七、〇〇	二二、〇〇	〇	〇	〇	一元、五〇	〇	一元、五〇	全	四	一	一	大田広蔵	三月
農	三六、〇〇	二二、〇〇	〇	〇	〇	三元、〇〇	〇	三元、〇〇	全	三	一	一	小林馬次	三月
商	四一、〇〇	二二、〇〇	〇	〇	〇	二元、〇〇	〇	二元、〇〇	全	二	一	〇	細井ソノ	三月
農	三六、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	〇	二元、五〇	〇	二元、五〇	全	六	一	一	山本藤蔵	三月
力役	五五、〇〇	二二、〇〇	〇	〇	〇	八、〇〇	〇	八、〇〇	全	八	四	二	大森格平	三月
染物職	六六、〇〇	二二、〇〇	〇	〇	〇	三元、〇〇	〇	三元、〇〇	全	三	一	一	田村菊次	三月
商	六〇、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	〇	二元、五〇	〇	二元、五〇	借宅	三	一	一	依田甚次郎	三月
農	五五、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	一〇、〇〇	〇	二元、〇〇	〇	二元、〇〇	借宅	三	一	一	浅崎熊次	三月
雑業	六三、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇	〇	九、〇〇	〇	九、〇〇	全	四	一	二	森田林八	三月
商	二七、〇〇	二〇、〇〇	〇〇、〇〇	四〇、〇〇	〇	二元、〇〇	〇	二元、〇〇	全	三	一	〇	磯野員為	三月
工	七五、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	全	五	二	二	守本正蔵	三月
雑業	六四、〇〇	二二、〇〇	〇〇、〇〇	〇〇、〇〇	〇	二元、〇〇	〇	二元、〇〇	借宅	六	一	一	今村弥蔵	三月

一 近代社会への歩み

雑業	官員	商	小学訓導	農	全	小学訓導	雑業	全	官吏	商	商	官吏	商	雑業	小学教員
一四、八〇〇	三、三五〇	六、二五〇	九、〇〇〇	六、二〇〇	三、三五〇	一〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇	一三、六〇〇	三、二五〇	三、六〇〇	三、六〇〇	一七、四〇〇	七、〇〇〇	二七、六〇〇	一七、二〇〇
一六、〇〇〇	九、〇〇〇	二、〇〇〇	九、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一六、〇〇〇
五五〇、〇〇〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇	一、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	〇	六、〇〇〇	五、〇〇〇	〇	六、〇〇〇	九、五〇〇	一、〇〇〇	九、五〇〇	七、〇〇〇
三、三七〇	二、九元	五、五元	〇	二、九元	三、九元	四、四元	二、七元	四、七元	三、五元	五、五元	〇	二、四元	六、〇元	九、八元	四、〇元
〇	八、〇〇	〇	一三、〇〇	〇	一五、〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇、〇〇	〇、〇〇	四、〇〇
三、五〇〇	一、五〇〇	〇	一〇、〇〇	〇	三、五〇〇	一、七〇〇	〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	〇	〇	〇	〇	三、五〇〇	三、五〇〇
八、七五〇	二、六〇〇	〇	三、四〇〇	五、四〇〇	五、五〇〇	二、〇〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	二、五〇〇	〇	〇	六、〇〇〇	三、〇〇〇	三、八〇〇
六、〇〇〇	二、六〇〇	六、〇〇〇	一、八〇〇	五、四〇〇	六、〇〇〇	一、四〇〇	八、〇〇〇	二、五〇〇	三、九〇〇	五、五〇〇	一、〇〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇	六、〇〇〇	九、〇〇〇
三、五五〇	一、四〇〇	六、〇〇〇	二、六〇〇	八、四〇〇	二、五五〇	一、二五〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	三、七〇〇	八、〇〇〇	二、〇〇〇	六、〇〇〇	三、三〇〇	八、七〇〇	二、三〇〇
全	自宅	借宅	全	全	全	全	全	全	全	自宅	借宅	全	全	全	全
三	五	二	四	五	五	八	五	七	四	四	三	十	五	七	四
二	二	一	一	一	一	二	二	一	二	一	二	三	二	一	二
一	一	一	二	一	四	三	一	三	一	二	一	三	一	一	二
〇	二	〇	一	三	〇	三	二	三	一	一	〇	四	二	五	〇
青木喜惣	堤清至	神野象象	松村円八	嶋村伝吉	芦沢常齐	山地智	京田直義	鈴木直砥	宍戸秀策	宮谷陸蔵	井上藤平	小出雅雄	稻毛健三郎	井上深美	間中敬太郎
七、五、月	九、月	四、月	三、月	九、月	一、月	二、月	四、月	四、月	三、月	一、月	三、月	八、月	九、月	三、月	四、月

5 旧士族の転職と生計

職業	種別	現在財産		現在歳入		同借宅別	人口	人口		戸主	戸主ノ年ノ齡
		地価	公債	株券	甲			乙	計		
工	旧禄米	三六〇	二〇〇	二〇〇	〇	二八〇	三	二	〇	高見 市治	五三
中学教員	正禄米	二二四	一六〇	〇	二〇〇	一八〇	八	二	五	白田蒼生比古	四六
雑業	受領高	一四〇〇 <small>(2,2)</small>	二〇〇	〇	〇	三〇〇	四	一	〇	河野 通盤	三三
商		六四〇	二〇〇	〇	一七〇	七〇〇	七	二	二	今村 猪三	廿七
農		六二五	二〇〇	〇	一三〇	七〇〇	三	二	〇	宮下 源助	四三
雑業		一〇四〇	九〇〇	〇	四二〇	六〇〇	三	二	〇	磯部 要八	四九
全		一五〇	二〇〇	〇	八九〇	三〇〇	六	二	三	本間九十郎	至二
小学訓導		二四〇〇	二〇〇	〇	四五〇	二〇〇	七	一	四	田中 董矣	三三
全		二〇〇	一六〇	〇	一四〇	九〇〇	七	一	一	曲淵 義寿	廿五
官員		三三〇	一六〇	〇	四〇〇	一四〇	七	一	四	大友 晋	三三
全		二六三	二〇〇	〇	三〇〇	二〇〇	五	三	〇	稲垣 幾	三二
農		七〇	九〇	〇	四七〇	〇	二	一	一	荒井 恭藏	四一
全		三〇	二〇	〇	一〇〇	七〇	三	一	一	内田 辰造	三六
全		三〇	〇	〇	〇	九〇	四	一	二	芹田 慶次	三三



一 近代社会への歩み

等 下		種別	現在財産		現在歳入		人口	男女		戸主	戸主年齢
雑業	雑業		地価	公債	株券	甲		乙	計		
二、三、三六	一、四、四二	旧緑米	五、六〇	〇	七、	三、	一	一	一	黒川 貞	二、六年
九、	一、六、	正改緑米	四、八、一〇〇	〇	五、	三、	二	一	二	藤岡 隼太	四、七年
四、七〇、	七、七〇、	受公領高	六、九、三	〇	七、	三、	二	一	二	柴田 格	七、七年

兵庫県下旧出石藩士族生計一覽表

生計下等

計	雑商		官商		官全		官員	
	業	員	員	員	員	員	員	
数 戸	二、四〇〇	八、一〇〇	一〇、〇〇〇	七、〇〇〇	三、三、七	三、五、五	三、〇、〇	三、〇、〇
九拾七戸	二、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
内 訳	二、六、四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
乙甲相俟	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八拾戸	二、三、三	〇	二、〇〇〇	四、〇〇〇	八、四、四	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
員 人	四、三、三	一、七、八	二、四、〇	二、〇〇〇	二、四、〇	二、四、〇	二、四、〇	二、四、〇
四拾七人	四、三、三	一、七、八	二、四、〇	二、〇〇〇	二、四、〇	二、四、〇	二、四、〇	二、四、〇
内 訳	二	二	一	二	一	一	一	一
甲乙相	一	一	四	二	二	二	二	二
三、九、拾三人	一	四	一	二	〇	二	二	二
六拾八人	太田 八束	川崎 涉一	山田 確次	岡部 忠雄	山本森之助	高山 温	高山 温	高山 温
拾人	至年	三、二	三、六	一、四	三、七	三、七	三、七	三、七

5 旧士族の転職と生計

職業	種別	旧禄米	正改禄米	受領高債	現在財産			現在歳入			人口	戸主		戸主年齢	
					地価	公債	株券	甲	乙	計		男	女		戸主
農業	雑業	六、一	二、	二、〇〇、	六、七	〇	〇	七、	三、	三、〇、	九	一	四	西沢辰蔵	十四年二月
農業	雑業	四、	二、	二、〇〇、	一五、六	二、〇〇、	〇	七、	二、〇、	二、七、	四	二	一	吉岡龍次	十四年四月
農業	雑業	五、五	二、	〇	〇	〇	〇	〇	三、	三、	五	二	一	田中定吉	十四年六月
農業	農業	七、	二、	二、〇〇、	〇	〇	〇	三、	二、六、	二、九、	六	一	三	北村藤平	十四年三月
左官職	農業	四、六	二、	二、〇〇、	一四、一	〇	〇	一、七、	三、〇、	四、	七	二	四	下川折平	十五年六月
木工	工業	四、	二、	二、〇〇、	六、八	二、〇〇、	〇	八、	二、五、	三、	一	一	〇	湯口辰蔵	十九年十月
雑業	工業	七、	二、	二、〇〇、	六、〇	二、〇〇、	〇	二、	三、	四、七、	六	一	三	佐藤又三郎	二十年七月
左官職	工業	四、三	二、	二、〇〇、	五、七	二、〇〇、	〇	七、	二、一、	二、八、七	六	二	一	永田平次	十七年四月
雑業	工業	一、三、五	二、	六、〇〇、	九、六	〇	三、〇〇、	四、	四、五	八、八、五	八	三	一	津田広	十五年十一月
官員	工業	二、九、七	二、	六、〇〇、	九、七	〇	〇	〇	四、	四、	六	二	二	鷺見翼	廿九年八月
官員	工業	一、〇、五	九、	四、七〇、	五、八	〇	〇	〇	四、	二、三、	六	一	一	高橋覚	三十三年八月
学務委員	工業	一、九、〇、七	二、	七、七〇、	一、六、八、五	〇	一、五、	六、	九、	二、四、九	八	二	四	林屯	廿五年四月
雑業	工業	一、三、六	二、	六、〇〇、	一〇、八	〇	三、〇〇、	四、	三、	六、	七	二	三	亀井岩夫	十五年五月
川上茂平															

一 近代社会への歩み

農 業	雑 業	雑 業	雑 業	雑 業	農 業	雑 業	雑 業	農 業	農 業	農 業	農 業	農 業	農 業	商 業
四、三	四、三	四、三	四、三	七、	四、三	四、三	五、八、五	五、五	五、五	四、三	四、三	四、三	九、六	七、三
三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、	三、
一、〇	〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	〇	〇	〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
八、四	六、四	六、四	一、四、五	八、一	二、八	一〇、二、一〇	一〇、六	五、五	〇	二、五	〇	三、〇	五、五	二、七
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	一、五	七、	一、五	一、三、七	〇	二、五	〇	三、五	五、	〇
四、	四、	三、七	三、	三、	一、五	三、	四、	二、	三、	三、五	三、	一、八	一、八	三、
四、	四、	三、七	三、	三、	二、六、五	三、	四、五	三、七	三、	三、五	三、	二、五	三、	三、
自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅
三	一	五	四	四	二	四	四	六	三	六	一	六	三	二
一	一	三	一	一	一	二	二	一	一	二	一	二	二	三
一	〇	一	二	二	一	二	一	一	一	三	〇	一	一	四
一	〇	一	一	一	〇	〇	一	四	一	一	〇	三	〇	四
荻野 利八	中沢 林七	山崎 長蔵	吉岡 梅吉	福岡 徳郎	森田 嘉蔵	野田 嘉長	平井 運八	湯口五百八	松村 初次	坂本儀平次	沢村 助七	瀬戸弥兵衛	高瀬 松蔵	浅田 宗斎
三十二年 三月	三十六年 六月	三十七年 六月	三十四年 七月	三十四年 七月	三十四年 七月	三十九年 十月	三十七年 十月	三十六年 九月	三十四年 五月	三十七年 十月	三十二年 七月	三十六年 四月	三十二年 六月	三十八年 八月



一 近代社会への歩み

祠	医	農	神	雑	雑	雑	雑	雑	雑	農	農	農	農	農	
掌	術	業	官	商	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	
三〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	四、〇〇〇	三三、八五〇	四三、〇〇〇	五五、〇〇〇	四三、〇〇〇	四八、〇〇〇	四三、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	五、五〇〇	四、三〇〇	四、三〇〇	四、〇〇〇	
二〇、〇〇〇	一六、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
三〇〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	〇	六〇〇、〇〇〇	〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	〇	〇	〇	〇	
〇	〇	八、一八〇	〇	〇	一七、一五〇	一四、八四〇	五、二〇〇	六、五〇〇	九、八九〇	一三、七〇〇	二、五〇〇	〇	〇	〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	三、〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
二〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	三〇、〇〇〇	九、〇〇〇	四、〇〇〇	三三、六〇〇	二五、七〇〇	四、二〇〇	四、〇〇〇	三、二〇〇	五、〇〇〇	四、八〇〇	五、〇〇〇	三、二〇〇	四、二〇〇	
二〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	三〇、〇〇〇	九、〇〇〇	四、〇〇〇	三三、六〇〇	二五、七〇〇	四、二〇〇	四、〇〇〇	三、二〇〇	五、〇〇〇	四、八〇〇	五、〇〇〇	三、二〇〇	四、二〇〇	
借宅	自宅	自宅	借宅	借宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	全居	自宅	
二	四	五	八	三	九	二	五	三	二	四	五	四	三	一	
二	一	一	二	二	二	〇	四	一	一	一	二	一	一	二	
〇	二	二	二	一	三	〇	〇	一	〇	一	〇	二	一	〇	
〇	一	二	四	〇	四	二	一	一	一	二	四	〇	一	一	
服部 青嶂	堀田 強	酒井 菊造	中村 重暉	上田 亀蔵	秋山 金助	永田 富次	中山 定吉	広瀬 作平	田中 勇三郎	浅崎与三 大夫	奥村 幸七	小川 清太郎	西浦 熊平	中島利之助	岡野 文吉
至六年	十二年	十五年	十四年	十四年	十九年	十九年	十二年	十六年	廿年	十四年	廿六年	廿五年	廿四年	廿六年	廿六年

5 旧土族の転職と生計

宿屋	雑	工	商	雑	商	仕立職	商	農	農	農	農	雑業	補助員	小學員学	職業	
															種別	種別
二七〇〇	二五八五	一五九九	三三三	一五四	二二二	九〇〇	五五〇	五四	三六	一七〇	一四六	一〇〇	一三〇	二二〇	旧禄米	正改
二〇〇〇	二〇〇〇	一六〇〇	二〇〇〇	一六〇〇	一六〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇	二	一八	一六	二〇	三〇〇	三〇〇	禄米	禄米
二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇	二	二〇	二〇	二〇	二〇〇	二〇〇	公債	公債
九〇九	六三	/	三六	元〇〇	一四〇	一五五	三〇三	四四	〇	〇	〇	六、七	〇	〇	地価	現在
/	/	/	/	/	/	/	/	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	公債	財産
/	五〇〇	/	/	/	/	/	/	〇	〇	〇	五〇	四〇〇	〇	〇	株券	
/	七〇〇	/	二五	/	/	一〇〇	八〇〇	一〇	三五	三五	三五	五、三	五、	五、	甲	現在
六〇〇	一〇〇〇	八〇〇	五〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	五、	五、	三〇	五、	三、四	〇	六、	乙	歳入
	一〇〇〇	八〇〇	五〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	五、一	五、	四、	二〇	一、二	三	五、	計	
全	自宅	全	借宅	全	全	全	全	自宅	自宅	自宅	自宅	自宅	借宅		同居	別
五	五	六	五	二	二	六	七	四	五	五	五	七	九		人口	
二	一	二	一	一	一	一	一	〇	三	一	一	二	二		男	十五以上
一	一	三	一	一	一	一	一	二	二	一	二	二	三		女	十五以下
二	三	一	三	〇	〇	四	五	二	〇	三	二	三	四		人口	十五以下
河合	井上	三好	米木	大石	大岩	伊藤	川見	西山	河本	西山	浅井	堀田	小嶋		戸主	
要造	敦	第二	龍二	良淳	富若	岸郎	敬七	耕作	彦兵衛	欽三郎	重成	英次	新八郎			
七六年	七九年	廿四年	廿六年	廿七年	廿七年	十四年	一二年	十六年	十三年	十六年	十七年	十九年	十九年		戸主	

一 近代社会への歩み

陶器職	農器職	商農	農	雑農	農	商	商	商	(記入なし)	畳職	陶器職	雑	工	工	工	
五五〇	四三〇	五五〇	三六〇	六三五	六三五	三六〇	六三五	六三五	二九七	三六〇	六三〇	五五〇	五五〇	八八〇	六四〇	六四〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
二〇〇	〇	〇	〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四七〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三三三	一六二	二一七	三〇〇	一〇〇	二〇〇	四一四	／	二七〇	一五四	五八〇	二三元	四〇〇	九〇〇	一五〇	／	一五三
／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
／	／	／	／	／	／	／	／	／	一〇〇	／	／	／	／	／	／	／
／	一五〇	／	／	八〇五	五三〇	三〇五	／	／	一四〇	／	／	／	／	／	／	／
四六〇	二四〇	四八〇	二〇〇	三七五	二五〇	一〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	四〇〇	七〇〇	四〇〇	一〇〇	六〇〇	二〇〇	七〇〇
四六〇	二四〇	四八〇	二〇〇	四二五	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	七〇〇	四〇〇				
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	自宅	同居	自宅
四	二	二	三	三	三	四	二	三	四	二	三	四	二	六	一	三
一	一	一	一	二	一	二	一	二	一	一	一	二	一	三	一	二
一	一	一	一	一	二	二	一	一	二	一	一	一	二			一
二		一		二					一					一		
柴垣 甚八	茨木 勝平	竹内 近二	加藤藤次郎	由利喜平次	岡崎 斧八	松永八重八	西川正之助	岡本 弘造	工藤 猛雄	中村 友藏	野田 寛治	羽能 順吉	竹場 新七	岩瀬 鑄三	森田 源藏	松原 甚三
九ヶ月	三十七年	四十七年	五十七年	五十八年	三十八年	三十九年	四十年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年	三十九年

5 旧土族の転職と生計

職業	種別	現在財産		現在歳入		同居室別	人口	男 女	15以上 15以下	戸主	戸主 年輪
		地価	公債	株券	甲						
教 導 職	旧 禄 米	四〇〇〇	二〇〇〇	／	／	全	五	二	二	磯野 員武	五十二年
同 掌	正 改 禄 米	一三五〇	二〇〇〇	／	／	全	四	二	二	春野原 鈴音	五十二年
商	受 領 高 債	二〇〇六〇〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	四、〇〇〇	全	八	二	一	長岡 成徳	十九年
巡 査	地 価	二五八五	二〇〇七〇〇〇	四七六七	四、二〇〇	全	六	二	二	瀬戸 是定	卅九年
雑 業	公 債	二二〇	二〇〇〇	／	／	全	五	二	二	宮原 肇	卅四年
雑 業	株 券	二二四	一六〇〇七〇〇	五、五七〇〇	五、九〇〇	全	五	一	一	鷺見 巳千郎	卅四年
雑 業	甲	二六三	三、五〇〇	三、五〇〇	四、〇〇〇	全	五	一	一	倉品 栄	卅三年
雑 業	乙	二四二	二〇〇九、五〇〇	一五、〇〇〇	二四、〇〇〇	全	四	一	一	藤岡 森	五十二年
雑 業	計	二四二	二〇〇九、五〇〇	一五、〇〇〇	二四、〇〇〇	全	四	一	一	国友 禦	七十四年
鍛 冶 職	同 居 宅 別	二四二	二〇〇九、五〇〇	一五、〇〇〇	二四、〇〇〇	全	六	一	一	小山田 準吾	七十四年
陶 器 職	人 口	二二五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一	高橋都 太郎	七十四年
全	男	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一	沢木 利平	四十九年
全	女	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一	熊川 忠次	四十九年
全	15以上	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一	中村 金次	四十九年
全	15以下	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一		廿六年
全	戸主	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一		廿六年
全	戸主	一三五	九〇〇四〇〇〇	四、〇〇〇	三、八〇〇	全	三	一	一		廿六年



一 近代社会への歩み

雑	農	工	農	商	陶器	雑	鍛冶職	雑	無業	巡査	全	全	雑	農
一三六	四六	四三	五五	四〇	二七	二七	二七	五五	三六	五五	五五	五五	三六	三六
九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇				一〇〇			一〇〇		
二五、三三	一七、九〇	五、二五	三、五〇	一、五二			二〇、七		二、〇〇	五、八五	六、九六	三、七〇	八、六一	九、〇〇
									〇〇、一〇、〇〇					
一〇〇														
一五、〇〇			二、〇〇	〇、七					七、			九、〇〇		
五〇〇	五〇〇	三、〇〇	四、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	一、八〇	二、五〇	一、三〇		八、四〇	四、〇〇	三、〇〇	三、六〇	二、〇〇
六、〇〇														
全	全	全	自宅		全	全	自宅	同居	全	全	全	全	全	全
四	七	五	七	二	二	一	三	五	三	三	四	三	二	三
二	二	二	一	一	一	一	一	二	〇	二	一	一	一	一
一	二	二	二	一	一	〇	一	一	一	〇	一	一	一	一
一	三	一	四			〇	一	二	二	一	二	一		一
中山 真吾	本条 治作	国谷善次郎	本条 軍八	高木 柳吉	道本幸太郎	上原 辰市	家城 弥七	手塚太平次	保田 縫藏	守本伊太郎	柳田 銀藏	大治 源八	松岡 真助	柳本 寅造
三二、三月	四、四月	十一、五月	十、六月	三、六月	七、七月	十、八月	一、六月	七、七月	九、八月	二、九月	一、十月	三、十月	一、十一月	四、十二月

5. 旧士族の転職と生計

職 業	種 別	夫(矢カ)													
		工	雜	商	雜	根	商	工	全	全	全	全	全	雜	農
旧	禄米	四、〇〇	四、三〇	(記入)	四、〇〇	四、三〇	七、〇〇	八、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	六、二五	四、三〇	四、〇〇	六、三〇	五、五〇
正	改禄米	二、〇〇	二、〇〇	九、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
受	公領高債	一、一〇	一、一〇	四、七〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
地	現在財産		八八	一一、五〇	一三、二二	一三、一五	一三、七〇	五、一〇	三、七〇	五、七〇	四、九〇	五、五〇	五、五〇	六、二六	
公	債														
株	券														
甲	現在歳入		五〇	七〇	一五七	一八〇	七〇	一〇〇	三〇	五〇	七〇	一五〇	三〇〇	二五〇	
乙		四〇〇	五〇〇	七〇〇	五〇〇	四〇〇	七〇〇	五〇〇	三〇〇	五〇〇	二五〇	三〇〇	二〇〇		
計															
同	住宅別	全居	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
人	口	一	五	六	五	五	四	七	五	四	四	五	三	五	三
男	十歳以上人口	一	二	二	一	一	一	一	二	一	一	一	一	二	二
女	十歳以下人口		一	一	一	一	三	一	一	一	一	〇	一	一	
人	十歳以上人口		二	二	三	二	二	三	二	二	三	二	二		
戸	主	滝本亀次郎	田中定七	斉藤元四郎	石田専八	永井孫三郎	宮本栄治	荒井治七	池内嘉造	片山房吉	野村芳助	中嶋儀平	大村武平	伊崎元藏	宮田林八
年	戸主	廿四年十一月	廿三年五月	廿三年八月	廿六年十月	廿四年九月	廿八年七月	廿六年三月	廿九年四月	廿九年六月	廿三年二月	廿九年二月	廿二年八月	廿三年七月	廿三年九月

一 近代社会への歩み

巡査	農	全	雑	木挽	農	全	全	全	全	雑	農	雑	商	商
七〇〇	六三五	七〇〇	三〇六	六四〇〇 <small>(六千四百)</small>	六二五	四〇〇	六二五	九〇〇	六二五	五五〇	四〇〇	四〇〇	五五〇	四〇〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
	二〇〇			二〇〇				二〇〇	二〇〇				二〇〇	二〇〇
三三〇	二七〇	二四〇		一〇〇〇	七八四	七二七		一〇〇〇	一〇〇〇	五五五	八二六	一六七〇	二二〇	一六〇〇
	二〇〇								二〇〇					
	七二							一八〇	二七五		一六六			一〇〇
二〇、〇〇	四〇〇	二〇〇	三〇〇	五〇〇	四〇〇	四〇〇	二〇〇	六〇〇	六〇〇	三〇〇	一五〇	三〇〇	五〇〇	五〇〇
		二〇〇												
全	全	自宅	全居	全	全	自宅	全居	全	全	全	全	全	全	自宅
六	四	三	一	六	四	三	一	二	三	五	六	八	三	七
二	二	一	一	二	三	一	一	一	一	一	一	二	一	一
一	一	二		一		一		一	一	一	一	二	一	一
三	一			三	一	一		〇	一	三	四	四	一	五
岡本 伝八	中村 市松	宮下 繁造	池田 篤三郎	橋本 卯平	横井 磯七	山本 周平	中村 錠八	依田 勝三郎	犀川 満光	伊保 武八	武林 周平	堤 弥平	小林 藤次郎	池内 郡治
廿九年七月	廿四年四月	廿三年六月	廿八年五月	廿四年六月	廿六年四月	廿三年十二月	廿六年五月	廿九年九月	廿九年三月	廿六年六月	廿九年三月	廿三年三月	廿二年十二月	廿四年一月

5 旧士族の転職と生計

職業	種別																
	旧禄米	正改禄米	受公債	領高債	地価	公債	株券	甲	乙	計							
雑業	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	六	男	一	一	三	戸主	年戸主 齡主
商	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三	男	一	一	一	赤木久七	三月
商	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四〇〇	二〇〇	七〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	七二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	男	二	二	二	梅垣貞太郎	三月
商	七二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	一	一	一		
雑業	六二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	男	一	一	一	岡崎辰造	三月
商	六二五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	男	一	一	一	河合惣次郎	三月
商	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	二七六	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	男	一	一	一	早川方大	三月
全	二七六	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九二二	二〇〇	一五〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	六一〇	九〇〇	四〇〇	二〇〇	二五〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	六	男	一	一	一	小林藤四郎	三月
全	六一〇	九〇〇	四〇〇	二〇〇	二五〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	六	女	一	一	一		
雑業	四三〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四	男	一	一	一	沢村長七	三月
商	四三〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四	女	二	二	二		
雑業	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	男	一	一	一	山中平八	三月
商	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二	男	一	一	一	足立孫平	三月
全	三六〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二	女	二	二	二		
雑業	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	男	一	一	一	田中又治	三月
商	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	男	一	一	一	赤木久七	三月
全	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九八〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三	女	二	二	二		
雑業	二四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	七	男	一	一	一	中村重	三月
商	二四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	七	女	二	二	二		
雑業	二五五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一	男	一	一	一	長谷川泗水	三月
商	二五五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一	女	二	二	二		
雑業	五五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四	男	一	一	一	龜田太七	三月
全	五五〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	四	女	二	二	二		

一 近代社会への歩み

小学教员	雑業	小学教员	雑業	商	全	全	雑業	全	全	全	商	雑業	全	商	全	全
二〇〇	一〇〇	一二一	三三	六二五	五九〇	六二五	一四四	六二	九〇〇	五五〇	六二五	六四〇	六四〇	五五〇	三六〇	一七三
二〇〇	九〇〇	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	二〇〇	一六〇
六〇〇	三七〇	四七〇	一〇〇			二〇〇	六〇〇	三〇〇	三六〇			二〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	七〇〇
二六		九六		一七八	一八二	三七〇	一五〇	元七	二〇〇	一〇一	一四八	六三七	一五〇		三〇〇	三〇〇
							〇	二〇〇				二〇〇		三〇〇		〇
二五〇		一〇〇					五〇〇	三〇〇						三九〇		一五〇
三〇〇		七〇〇				〇	五〇〇	四〇〇	六六〇			七七		三〇〇		二六
六〇〇	四〇〇	八〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	二五〇	五〇〇	二〇〇	五〇〇	四〇〇	五〇〇	四〇〇	四〇〇		二四〇	一八〇
二六〇	四〇〇	九〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇〇	二五〇	二五〇	三〇〇	三六〇	四〇〇	五〇〇	七七	四〇〇	三〇〇	四〇〇	元六
自宅	借宅	全	全	全	全	全	全	自宅	全	全	全	全	全	全	全	自宅
六	七	九	二	六	一	四	五	六	三	六	七	三	三	六	七	四
二	一	一	一	一	一	一	二	二	二	一	二	一	一	二	四	一
二	二	一		二		二	一	二			二		一	一	二	二
二	四	七	一	三		一	二	二		五	三	二	一	三	一	一
太田 鍛	川口 伝	江崎 徳次	石田 勘助	岡野治郎七	上垣 元七	野池免十郎	大沢 良与	中野沢潤二	船津 勇蔵	中島 富平	芝原喜久治	森谷 悦三	木村磯三郎	柳川 豊蔵	一柳弥五作	河島 良顕
十三年	元年	十月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月

5 旧士族の転職と生計

職業	種別	現在財産		現在歳入			住宅別 同居別	人口	男女		住宅別 人口	戸主	戸主 年齢
		地価	公債	株券	甲	乙			計	男			
雑業	旧禄米	二四二四	二〇〇〇	九五〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	全	三	一	二	一	小川重徳	廿三
雑業	改禄米	二〇〇〇	二〇〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	全	三	一	二	一	櫛田博	廿三
雑業	公債	二〇〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	二	一	河野十万喜	廿三
雑業	受領高	一八四二八	二〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	二	一	平野徳太郎	廿三
神官		二二〇		四〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	九	二	三	一	今井恒	廿三
巡査		二四〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	七	一	五	一	水原徳次郎	廿三
職商		二七〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	一	一	駒井深	廿三
職工		一七三	一六〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	六	一	一	一	福田治太郎	廿三
雑業		三〇一	一六〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	一〇	二	三	一	長谷川角蔵	廿三
大工		六〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	全	三	二	一	一	宮下重内	廿三
雑業		七三〇	二〇〇〇	一五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	全	五	一	一	一	足立豊蔵	廿三
雑業		四八〇	二〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	一	一	武井岩吉	廿三
全農		六五	二〇〇〇	九二五	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	一	一	宮田喜三	廿三
雑業		三六〇	二〇〇〇	四〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	六	一	一	一	永沢鶴蔵	廿三
雑業		五九〇	二〇〇〇	五七〇	二〇〇〇	二〇〇〇	全	三	一	一	一		廿三

一 近代社会への歩み

全	全	商	全	雑業	巡査	雑業	全	農	雑業	雑業	無職業	陶器職	全	全	全
六三五	七三〇	七三〇	二二六	一六一三	七〇〇	一四三三	六三三	九七〇	四八四	三〇六	三〇六	六二五	六七五	八五五	四三〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一六〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	二〇〇
二〇〇	二〇〇		六〇〇	七〇〇	二〇〇	六〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇			四〇〇	二〇〇
二〇〇			〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇			〇〇	〇〇
六二〇	一一九		三〇〇	四九五	元五	一一〇	一〇〇	七四三	二八三	五〇〇	五五七			二六〇	一〇〇
			〇〇	五〇〇		五〇〇				二〇〇	二〇〇			四〇〇	〇〇
			〇〇	〇〇		〇〇								〇〇	〇〇
五〇〇	五〇〇		五〇〇	五七〇	三〇〇	四三九	〇〇	五五五	二五	一三〇	一〇〇			三九七	七〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	二四〇	二四〇	二八〇	三〇〇	三三〇	六二五	二〇〇	三〇〇		六〇〇	二〇〇	七〇〇	四〇〇
三〇〇	三〇〇	三〇〇	七〇〇	七〇〇	二〇〇	七〇〇	三〇〇	五七〇	二四三	四二〇	一〇〇	六〇〇	二〇〇	二一七	四〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
六	七	七	五	五	五	六	二	五	三	五	一	四	三	七	四
一	一	一	三	一	一	二	一	一	二	一	〇	三	一	二	〇
一	一	一	一	一	一	一	〇	一	一	一	〇	一	一	三	一
四	四	五	一	三	三	三	一	三	〇	三	一	〇	一	二	三
長谷川軍八	河本慶蔵	北垣八十八	相原兵三郎	中嶋武城	吉村勇七	芦沢武顕	片岡伊八	早田勤助	宮崎慶次	森垣為次	小中滝次	永沢信吉	北村八百八	富岡義成	西岡斧七
翌三月	六月	二月	五月	五月	五月	六月	空二月	七月	七月	二年	二月	二月	二月	二月	二月

5 旧士族の転職と生計

職業	種別	現在財産										現在歳入		人口	男	女	戸主	戸主年齢	
		旧禄米	正禄米	公債	高債	地価	公債	株券	甲	乙	計	借宅ノ別	同居						
農	農	五〇〇	二〇〇			一〇四〇〇							一五五〇	二	二	一	一	町田 武次	三十七年
工	工	七五	二〇〇			七四							二五〇	一	二	一	一	宮崎 宗喜	二十二年
陶器職	陶器職	三〇〇	二〇〇										四〇〇	一	一	一	一	石田 竹藏	廿年
無職業	無職業	二四五	二〇〇										四〇〇	一	二	一	一	柘植 厲	廿年
雜業	雜業	三〇〇	二〇〇										四〇〇	一	一	一	一	畑村 きく	廿六年
力役	力役	三三	二〇〇										三〇〇	一	一	一	一	中沢 国造	廿年
無職業	無職業	一四八	一六〇										七〇〇	一	一	一	一	河野 学	廿八年
雜業	雜業	六〇	二〇〇										二〇〇	一	一	一	一	宮崎 晴吉	廿年
全	全	七〇	二〇〇										二〇〇	一	一	一	一	明石 乃婦	廿七年
全	全	五七	二〇〇										四〇〇	一	一	一	一	唐沢 勇平	廿九年
大工職	大工職	六五	二〇〇										四〇〇	一	一	一	一	石田 料二	廿九年
雜業	雜業	七五	二〇〇										四〇〇	一	一	一	一	中村 康一	廿年
傘職	傘職	二〇〇	二〇〇										三〇〇	一	一	一	一	岡部 津	廿八年
大工職	大工職	三〇	二〇〇										三〇〇	一	一	一	一	林 源六	廿七年



一 近代社会への歩み

商	巡查	小学教員	雑業	陶器	全業	雑業	官員	全業	無職業	全業	全業	雑業	農	全業	雑業	雑業
三六〇	三三三	六四	二七	一〇八	三六	一〇	七〇	二九	二七	九五	八五	二七	七〇	六四	二九	二七
二〇〇	二〇〇	一六〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	二〇〇
一一〇〇	五〇〇	七〇〇	六〇〇	六〇〇	四〇〇		一一〇〇	六〇〇	六〇〇		二〇〇				四〇〇	九〇〇
	三〇〇	一七〇	一九二	二〇〇	五三	五七	二九	二四	四三	三五	三三		五〇		八〇〇	三〇〇
									一〇〇							
			三〇〇					五〇〇								二〇〇
			四三		二〇〇			七〇〇	四〇〇		二七		五〇		二〇〇	四三
三五〇	六〇〇	一四〇	二四〇	五〇〇	六〇〇	八〇〇	一四〇	四〇〇		五〇〇	四〇〇	四〇〇	一五〇	二〇〇	一〇〇	六〇〇
五〇〇	六〇〇	一四〇	七五	五〇〇	八〇〇	八〇〇	一四〇	五〇〇	四〇〇	五〇〇	五〇〇	四〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	三〇〇
全居	全	全	全	全	全	全	自宅	借宅	全	全	全	全	全	自宅	全居	自宅
二	八	五	四	四	三	八	九	三	一	四	四	五	九	三	六	八
一	二	一	一	一	二	一	一			一	一	一	三	一	一	二
	二	二	一	二	一	一	二	一		一	二	一	三	一	一	二
一	四	二	二	一		六	六	二	一	二	一	三	三	一	四	四
熊川	西山	長岡	岩瀬	仁井	小林	稻垣	倉谷	酒井	岡部	中沢	田上	宮岡	森垣	清水	堀口	真田
亀造	嶺	透	半蔵	勇造	友江	格次	多志	左多雄	忠敏	東九郎	万作	德平	勝次	専助	為広	左加衛
廿七	廿三	廿三	廿六	廿六	廿六	廿六	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一	廿一

5 旧士族の転職と生計

											職業		種別		
全	商	全	全	力役		全	全	雑業	無業	教員	全	雑業		全	商
六〇〇	四三〇	五五〇	四三〇	四三〇	二五〇	六二五	六二五	二七〇	二四〇	四三〇	四三〇	三六〇	四〇〇	三六〇	二〇〇
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	改正禄米
															受公債
															高債
一七〇〇	八四〇	一三三〇	七〇〇	五五〇		一五二〇	一八三〇	二七六〇	一六〇〇			一〇〇〇	六八三〇		地価
															公債
															株券
															甲
															乙
															計
															同居別
															人口
															男
															女
															人口
															戸主
六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	戸主
木村妻八	竹内専八	塩見新四郎	酒井八十八	山口銀平	土肥実	小池専助	小林新八	船越忠一	小山朝太郎	山崎春芥	中島彦三郎	長谷吉三郎	石川栄三郎		

一 近代社会への歩み

巡査	雑業	陶器職	雑業	工業	鍛冶 <small>(や)</small>	官員	巡査	陶器	雑業	工業	力役	医	商	農
一八五	二〇〇	五五	四〇	四〇	五五	一〇〇	二〇五	一〇〇	四〇	四〇	四三	一七五	六二五	四三〇
一六〇	二〇〇	二〇	二〇	二〇	九〇	九〇	一六〇	九〇	二〇	二〇	二〇	一六〇	二〇	二〇
		一一〇				四七〇	四七〇	四七〇				六〇〇	一一〇	
						三六〇		四七〇	八九六	三八八	六五	二五	一九七	三五
						一五〇	四〇〇					五〇〇		
						二〇〇	二六〇					七〇〇		
一三〇	一八〇	四〇	五〇	四〇	五〇	九〇	八〇	六〇	二五〇	五〇	三〇	一五〇	三六〇	二〇〇
一三〇	一八〇	四〇	五〇	四〇	五〇	四〇	二〇	六〇	二五〇	五〇	三〇	一五〇	三六〇	二〇〇
企	企	自宅	全居	企	企	企	企	企	企	企	企	企	企	自宅
五	五	四	三	三	六	三	四	四	五	三	四	六	二	五
一	二	一	二	一	一	二	二	二	一	一	一	二	一	一
一	二	二	一	一	四	一	二	二	一	一	一	一	一	三
三	一	一		一	一				三	一	二	三		一
村山喜太郎	仙石久誠	片岡徳助	水出八三郎	荒井又一	中井幸七	永井八八	土岐久雄	足立良作	堀田龍八	荒井宗平	森沢吉太郎	萩玄維	田原与三次	多田豊平
十平五	平三	十平三	十平七	平一	十平九	平四	平七	十平七	平天	平七	平共	平二	平五	平六

5 旧士族の転職と生計

職業	種別															
	旧禄米	正改禄米	受公債	領高債	地価	公債	株券	甲	乙	計	借宅ノ別	人口	男	女	戸主	戸主年齢
雑業	二七〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	五二六			一五〇	六〇〇	七五〇	自宅	七	一	二	波田霞	四十九
雑業	二七〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二四一五			一五〇	六〇〇	七五〇	全	九	一	三	佐久間由豆流	四十六
農	六五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三九			三	九〇〇	一〇五〇	全	六	三	一	船本弁治郎	五十九
教員	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	九〇四			三	六〇〇	七〇〇	全	九	二	五	中島直	五十一
農	三〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	三三三			一〇〇	六〇〇	七〇〇	自宅	三	二	一	野村元藏	五十三
無業	二四二四	二〇〇	二〇〇	二〇〇				三〇〇	六〇〇	七〇〇	全居	一		一	鷺見武力	五十三
商	一四一八	一六〇	一六〇	一六〇	二五三			一四〇〇	六〇〇	七〇〇	全	九	一	三	松本敬威	五十三
農	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	五〇〇			五〇〇	六〇〇	七〇〇	全	七	二	一	内海初藏	五十七
商	六五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	七〇〇			四〇〇	六〇〇	七〇〇	全	五	一	三	山本繁次	五十六
農	四〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一五〇〇			一三〇〇	六〇〇	七〇〇	全	四	一	二	沢田豊平	五十六
雑業	六五	二〇〇	二〇〇	二〇〇	八〇〇			一三〇〇	六〇〇	七〇〇	全	五	三	一	川見友七	五十九
無業	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二七四			二〇〇	六〇〇	七〇〇	自宅	六	二	一	上田喜太夫	五十三
雑業	五五	二〇〇	二〇〇	二〇〇				三〇〇	六〇〇	七〇〇	自宅	一	一	一	杉原トシ	五十七
雑業	五五	二〇〇	二〇〇	二〇〇				三〇〇	六〇〇	七〇〇	自宅	三	一	一	中村治平	五十七



5 旧士族の転職と生計

職業	種別	職業																						
		日備	雑業	日備	無業	商業	商業	商業	商業	商業	農業	商業	全業											
旧禄米	正改禄米	六四	六四	六四	二一	二四	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	
受公領高債																								
生計困苦種類	甲																							
	乙																							
	丙																							
	丁																							
同借自居宅宅																								
人口																								
男	女																							
人口以上	人口以下																							
戸主																								
戸主年齢																								

一 近代社会への歩み

全	全	全	全	無業	雑業	工業	雑業	力役	雑業	全	無業	商	雑業	農
八三	八三	七〇	一四七	一五八	二七〇	一〇三	一七二	六三	二二四	一四六	三〇	二四五	三〇	六〇
二〇〇	九〇〇	二〇〇〇	一六〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一六〇〇	一六〇〇	二〇〇	一六〇〇	一六〇〇	二〇〇	二〇〇〇	二〇〇	二〇〇
	四七〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	六〇〇〇	九五〇〇	六五〇〇	七〇〇〇		五〇〇〇	七〇〇〇	二〇〇〇	六〇〇〇		
甲	甲	甲	甲	甲						甲	甲		甲	
						乙		乙				乙		
					丙		丙		丙					丙
全	全	自宅	全居	全	全	自宅	借宅	全	自宅	全	全	全	全居	借宅
五	三	五	二	三	三	七	五	九	三	一	一	六	二	六
	一		一	一	一	一	一	一	一			一		一
四	一	三		二	一	二	二	三	二			二	一	一
一	一	二	一		一	四	二	五		一	一	三	一	四
山越伊太郎	川瀬先吉	小倉勝太郎	牧野キヲ	岡本吉郎	太田一	工藤祐暉	谷中岩太郎	三木門平	藤沢暁	石井カメ	森垣宗吉	片山令敬	森田トメ	太田周八
明治廿年	明治廿五年	明治廿三年	明治廿四年	明治廿二年	明治廿年	明治廿三年	明治廿五年	明治廿七年	明治廿九年	明治廿七年	明治廿年	明治廿六年	明治廿七年	明治廿六年

